

球磨工 人権だより

9月号 No.3 人権教育推進委員会

夏休みも終了し、2学期がスタートしました。

2学期は体育大会や球磨工フェスタ等、修学旅行など行事が盛りだくさんです。みんなで協力し合って実りのあるものにして欲しいと思います。しかし、依然として新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。「マスクの着用」「黙食」「換気」「検温」「手洗い・うがい」を徹底し、2学期を楽しみましょう。

今回は『新型コロナワクチン接種』に関する人権問題についてです。ワクチンの接種については、既に3回接種している人もいれば、未接種の人もいます。このことで、不当な差別的取扱いがなされている事案が発生しています。差別を生まないために知っておきたいことを記載しました。

良くも、悪くも“コロナ”に慣れすぎていませんか？

○あなたはワクチン接種について以下のことを知っていますか？

- 接種は強制ではないこと
- 周囲に接種を強制してはいけないこと
- 身体的な理由や様々な理由によって接種することができない人や接種を望まない人がいること。また、その判断は尊重されるべきであること

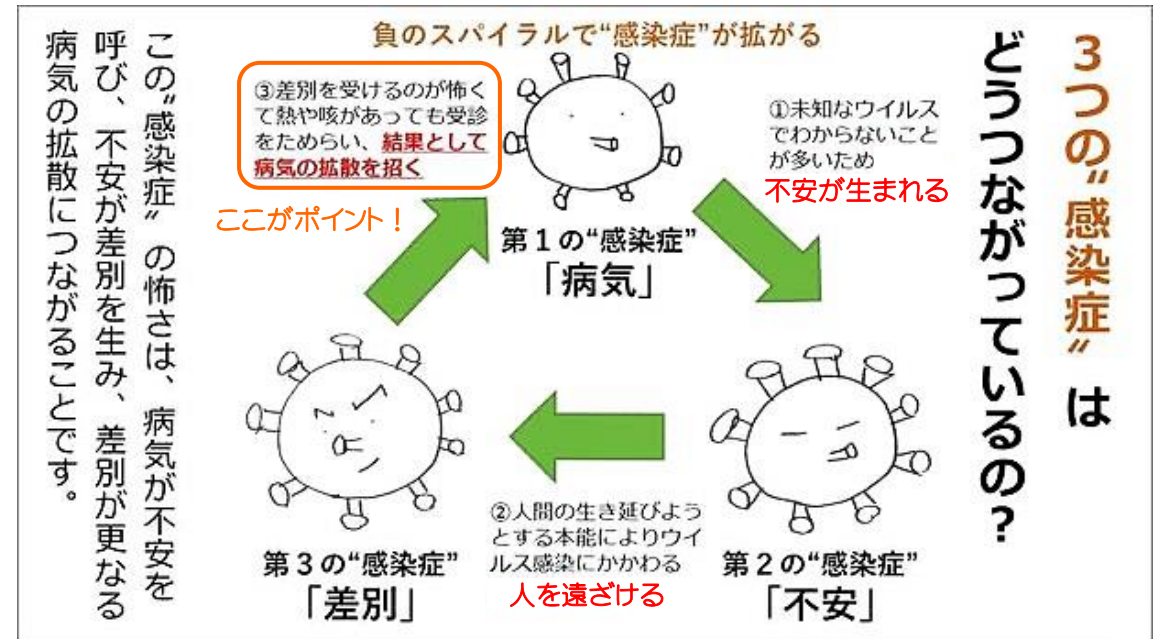
ワクチン接種を受けているかどうかは、個人のプライバシーに属する事柄です。本人の意に反して接種の有無に関する情報の開示を強要することや、本人の同意を得ることなく第三者に接種の有無に関する情報を提供することは、関係法令に照らして違法となる場合があることを覚えておきましょう。

○新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別防止のために大切なこと

- 公的機関(国、県等)が提供する正しい情報を得る
- 悪い情報ばかりに目を向けない
- 差別的な言動に同調しない

思い込みや偏見が差別を生みます。信頼できる正しい知識と最新の情報に基づいて行動するようにしましょう。

○3つの感染症と負のスパイラル



参考：「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」日本赤十字社

負のスパイラルを起こさないために、正しい知識を得て、偏見や差別をなくしていきましょう。

○SNS等の利用に当たって注意すること

SNS等での誹謗中傷、偏見や差別も絶対に許されません。その投稿で、悲しむ人や傷つく人がいないか、送信する前に考えましょう。

コロナは私たちの生活を変え、人間関係の構築を難しくしました。このことで苦しんでいる人もいます。これまで以上に「コミュニケーション」と「支え合い」が必要です。

生徒コラシ 「人権と距離感」(2年生 女子)

私はあまり人間関係が得意ではありません。なので、私はみんながみんな互いを好きになる必要はないと思っています。食べ物にも好き嫌いがあるよう、人間関係にも得意、不得意があります。そんな人もいる中で全員が友達なんてあり得ません。仲間の輪に加わることを強要することも、仲間ではないからと悪口を言い、いじめの標的にすることも間違っています。程良い間隔で距離感を守り、互いを尊重し合う関係が一人一人の人権を守ることにつながるとしています。仲が良いからといって、他人のプライバシーに関することを知ろうとしすぎることも人権を侵害になると思います。お互いが程良い距離感を保ちながら生きて行く方が、気持ち的にも楽なのではないでしょうか。